

令和4年度第3回君津市介護保険運営協議会

日 時 令和4年11月22日(火)
19時00分～
会 場 君津市役所6階災害対策室

1 開 会

2 議 題 (1) 第8期介護保険事業計画実績報告について
(2) 第9期介護保険事業計画について
(3) その他

3 閉 会

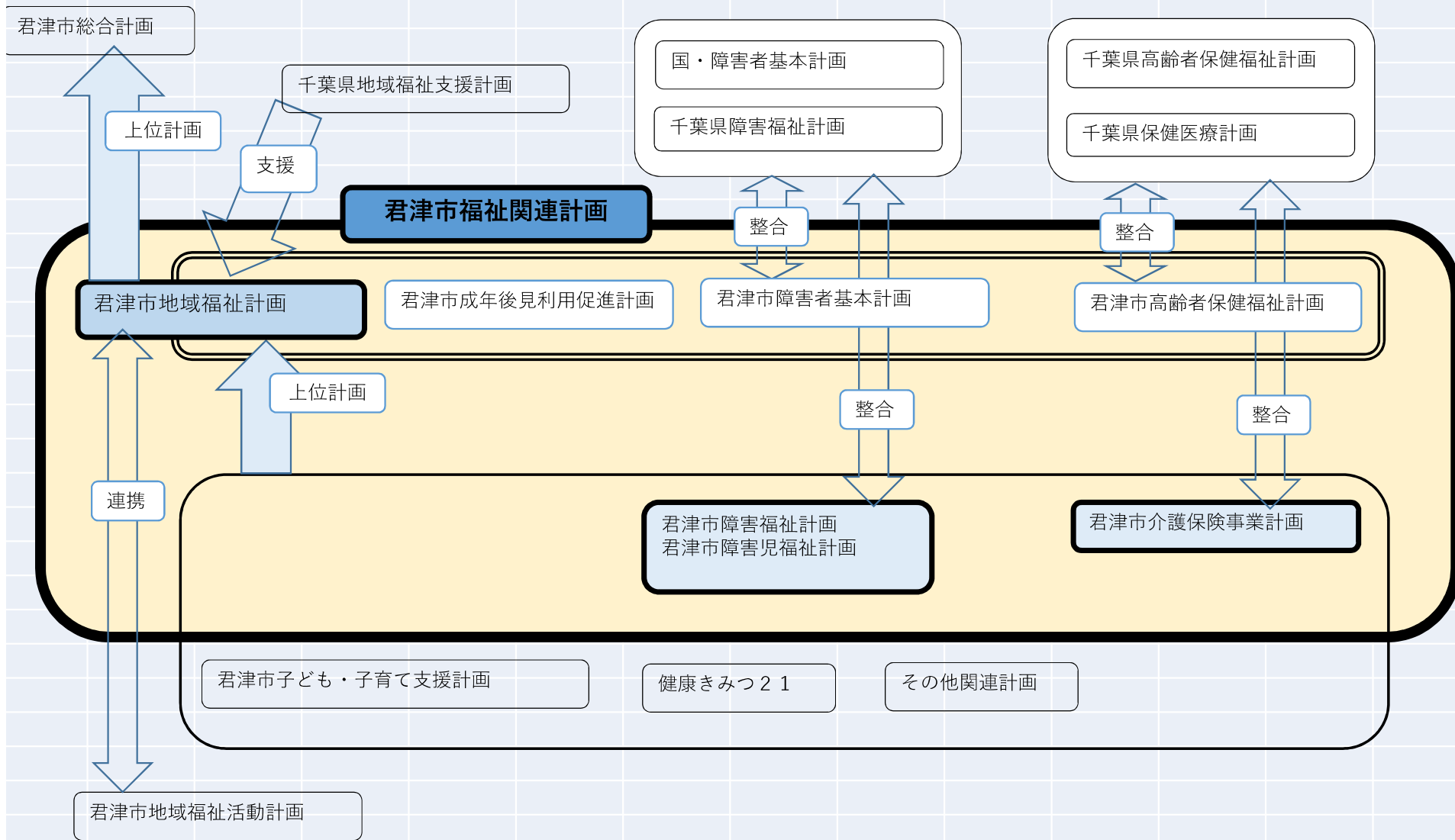
君津市介護保険運営協議会委員名簿

任期：令和3年7月27日～令和6年7月26日

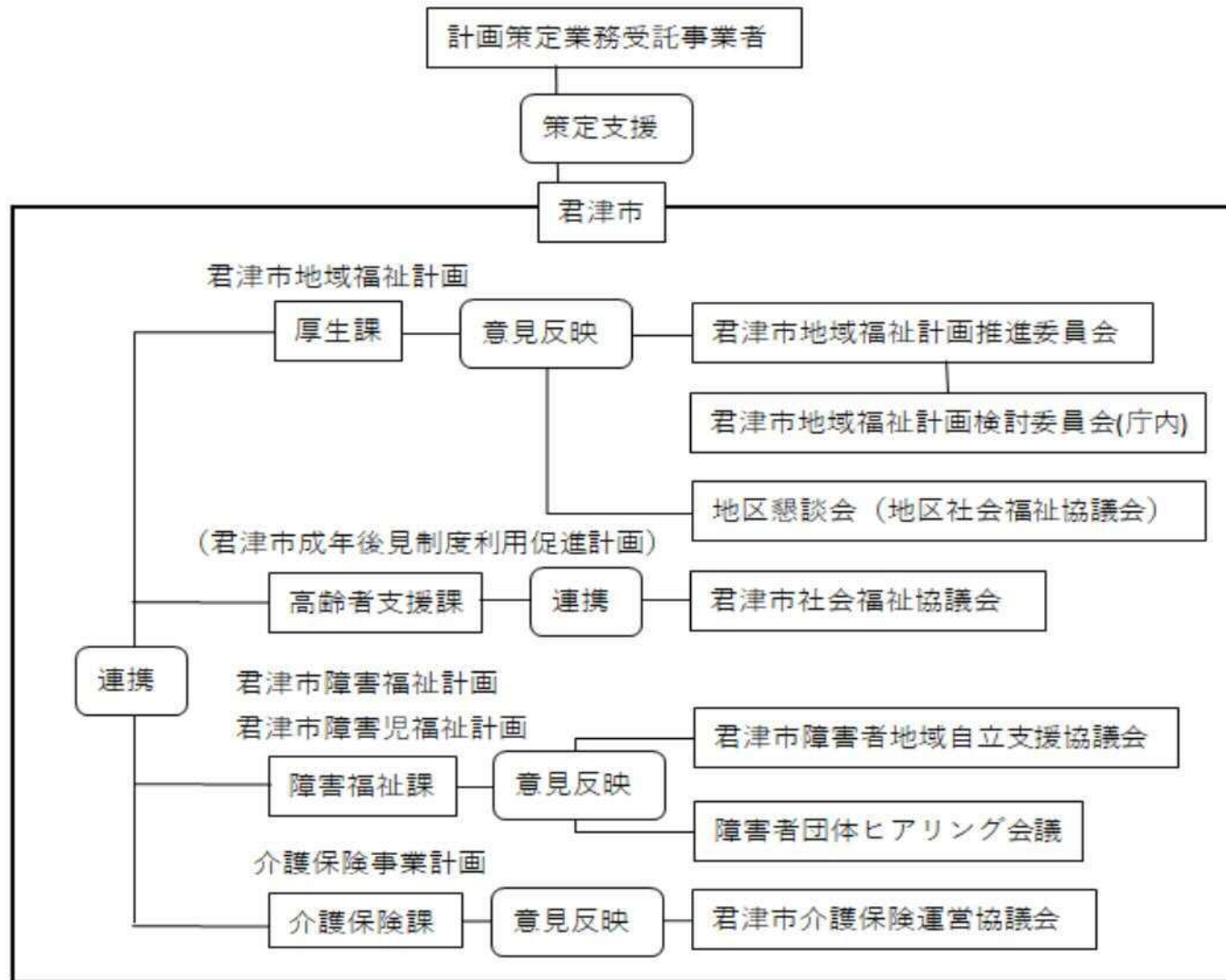
	役職	委員氏名	選出区分	推薦団体名
1	会長	ほずみ ひろし 保住 寛	保健医療関係者	君津木更津医師会
2	副会長	はら ひさし 原 比佐志	保健医療関係者	君津木更津歯科医師会
3		かねこ けんいち 兼子 健一	学識経験者	学校法人 君津あすなろ学園 千葉医療福祉専門学校
4		かわしま まさひろ 川嶋 昌弘	被保険者	君津市シニアクラブ連合会
5		えじり せつこ 江尻 節子	被保険者	君津市赤十字奉仕団
6		すずき そういち 鈴木 荘一	被保険者	君津商工会議所
7		ところ たかひろ 野老 高弘	福祉関係者	君津市民生委員児童委員協議会
8		かとう みよこ 加藤 美代子	福祉関係者	社会福祉法人 君津市社会福祉協議会
9		いが ひろし 伊賀 浩	介護サービス事業者	一般社団法人 千葉県老人保健施設協会
10		みずの や しげる 水野谷 繁	介護サービス事業者	君津四市高齢者福祉施設連絡協議会
11		はやし えいち 林 英一	介護サービス事業者	君津市介護支援専門員協議会
12		はこだ じゅんこ 箱田 純子	介護サービス事業者	一般社団法人 千葉県介護福祉士会
13		つがねざわ ひろし 津金澤 寛	介護サービス事業者	君津市介護サービス研究会
14		おおこ まさあき 大古 政昭	費用負担関係者	君津市農業協同組合
15		たかの せつこ 高野 摂子	要介護者等の家族	認知症介護者ネットきみつ

福祉関連計画策定の概要

君津市福祉関連計画全体イメージ



君津市福祉関連計画策定体制



成果品の内容について

【冊子イメージ】

- 1 地域福祉計画・障害者基本計画・高齢者保健福祉計画・成年後見利用促進計画を記載した冊子
 - 2 障害福祉計画・障害児福祉計画を記載した冊子
 - 3 介護保険事業計画を記載した冊子
- 合計 3 冊の納品物

【内容の概要】

- 1 君津市における福祉の最上位計画として、地域福祉計画を位置付ける。また、障害者基本計画及び高齢者保健福祉計画の計画期間を 6 年とし、今後、同時期の計画改定を行う（期間は自治体任意となる）。
 - 2 国の定める「基本方針」に基づく、成果目標を設定した障害アクションプラン
 - 3 国の定める「基本方針」に基づく、成果目標を設定した介護アクションプラン
- ※ 2, 3 は国が定める基本方針により、3 年を 1 期として作成が義務化

各計画期間の対比表

	～令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
君津市地域福祉計画	第3次君津市地域福祉計画 (令和元年度から令和5年度)	第4次君津市地域福祉計画					
君津市障害者福祉計画	第3次君津市障害者基本計画 第6期君津市障害福祉計画 第2期君津市障害児福祉計画 (令和3年度から令和5年度)	第4次君津市障害者基本計画					
		第7期君津市障害福祉計画・第3期君津市障害児福祉計画			第8期君津市障害福祉計画・第4期君津市障害児福祉計画		
君津市高齢者保健福祉計画	君津市高齢者保健福祉計画・ 第8期介護保険事業計画 (令和3年度から令和5年度)	君津市高齢者保健福祉計画					
		第9期介護保険事業計画			第10期介護保険事業計画		
		君津市成年後見促進計画（新規策定）					
第2期君津市子ども・子育て支援計画（子ども・子育て支援事業計画・次世代育成支援行動計画）			第3期君津市子ども・子育て支援計画（計画期間は未定）				
第2次健康きみつ21（平成25年度から令和5年度） ※11年間だが6年目にあたる平成30年度に中間評価を実施		第3次健康きみつ21（計画期間は未定）					

第8期介護保険事業計画実績報告について

第8期介護保険事業計画では、施策ごとに成果指標を設定しており、進捗状況について定期的に評価を行いながら各種施策を推進していくこととしております。

つきましては、成果指標ごとに令和2年度及び令和3年度の実績を計画の該当箇所の抜粋とあわせて下記のとおり報告させていただきます。

第5章 「人生100年時代」を見据えた生きがいつくり・健康づくり・介護予防の推進

1. 生きがいつくりと元気な暮らしの支援

(1) シニアクラブ助成事業【45ページ】

(担当課：高齢者支援課)

シニアクラブの活動に補助金による助成を行い、高齢者の社会参加の促進や、生きがいを持った生活の支援を図ります。また、クラブ数の減少問題に対して、助言等を行います。

		令和2年度	令和3年度
クラブ数	計画値	54	54
	実績	54	50
	達成率	100.00%	92.59%
会員数	計画値	1,901	1,900
	実績	1,901.00	1,710.00
	達成率	100.00%	90.00%

(2) 高齢者の就労の場の確保【46ページ】

(担当課：高齢者支援課)

君津市シルバー人材センターの活動に補助金を交付することで、高齢者の就業機会の増大などを図ります。併せて、登録会員数の減少問題について、より高齢者のニーズに合った業務の検討を求める等、助言等を行います。

また、令和2年10月に開設した君津版ハローワーク「きみジョブ」との連携を検討し、高齢者の就労の場の確保、社会参加等を促進していきます。

		令和2年度	令和3年度
シルバー人材センター会員数	計画値	480	525
	実績	480	382
	達成率	100.00%	72.76%

2. 健康づくりの支援・介護予防の推進

(1) ライフステージに応じた健康づくりの支援

②各種検診【48ページ】

(担当課：健康づくり課)

がん検診等（結核・肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん）、肝炎ウイルス検診及び歯周疾患検診を行います。

		令和2年度	令和3年度
結核・肺がん 検診 受診率	計画値	6.7%	8.7%
	実績	3.4%	5.1%
	達成率	50.75%	58.62%
胃がん検診 受診率	計画値	3.6%	5.6%
	実績	1.7%	2.4%
	達成率	47.22%	42.86%
大腸がん検診 受診率	計画値	4.0%	7.8%
	実績	4.0%	5.6%
	達成率	100.00%	71.79%
乳がん検診 受診率	計画値	9.3%	13.8%
	実績	9.2%	11.0%
	達成率	98.92%	79.71%
子宮頸がん検診 受診率	計画値	9.6%	13.9%
	実績	11.0%	13.1%
	達成率	114.58%	94.24%

⑥健康増進事業【49ページ】

(担当課：高齢者支援課)

おおむね60歳以上の方に対し、身近な会場として、住民の居住地の近くにある集会所等において運動をする習慣化の機会を設けます。また、生きがい支援センターや公民館等で「健康増進事業」を実施して介護予防に努めます。特に、地域で実施する運動教室「健康増進モデル事業」は、地域コミュニティの醸成も目的とし、現在105教室（令和2年7月末現在）ある教室の維持継続に努めていきます。

「屋外運動習慣化事業」では、屋外型健康増進器具を使用した「うんどう教室」をふれあい広場や内みのわ運動公園で実施し、介護予防を図るとともに、高齢者等の運動習慣化を推進する市民ボランティアとしての「地域指導員」の養成にも取り組んでいきます。

		令和2年度	令和3年度
健康増進モデル事業 実施箇所数	計画値	105	108
	実績	104	104
	達成率	99.05%	96.30%
地域指導員数（人）	計画値	24	24
	実績	24.00	23.00
	達成率	100.00%	95.83%

(2) 一般介護予防事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

①介護予防把握事業【50ページ】

（担当課：高齢者支援課）

地域包括支援センターの総合相談支援事業等と連携して収集した情報を活用し、看護職員が自宅に訪問することで、閉じこもり等の何らかの支援を要する人を把握し、「健康増進モデル事業」で実施する運動教室等の介護予防活動への参加につなげます。

		令和2年度	令和3年度
訪問件数	計画値	400	400
	実績	366	379
	達成率	91.50%	94.75%

⑤地域リハビリテーション活動支援事業【50ページ】

（担当課：高齢者支援課）

平成30年度から、君津地域リハビリテーション広域支援センターの協力のもと、市内公民館と連携し、医療機関、介護事業所等に従事する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のリハビリテーション専門職による介護予防講座を開催しています。

今後も、地域における介護予防の取組を機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、「健康増進モデル事業」で実施する運動教室など、住民運営の通いの場等へリハビリテーション専門職の関与を促進します。

令和2、3年度については、コロナ禍により開催中止となっております。

		令和2年度	令和3年度
講座実施回数	計画値	2	6
	実績	0	0
	達成率	0.00%	0.00%

(3) 介護予防・生活支援サービス事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

①訪問型サービス【51ページ】

（担当課：介護保険課）

要支援者等に対し、訪問介護員による身体介護や、掃除、洗濯等の日常生活上の支援を提供します。

国のガイドライン等で例示されるいわゆる「多様なサービス」のうち住民主体型のサービスである「訪問型サービスB」について、要支援者等に対する生活支援の体制の充実とともに、サービスを提供する高齢者等の社会参加の促進や介護予防、生きがいの充実などが期待できることから、実施に向けた取組を進めていきます。

また、実施にあたっては、国において、介護予防・生活支援サービス事業の利用対象者の弾力化として、要介護者を対象者に加えるなどの制度の見直しが検討されていることから、国の動向を見ながら、本市の対応を検討していきます。

		令和2年度	令和3年度
介護予防訪問介護相当サービス件数	計画値	2,006	2,163
	実績	1,875	1,875
	達成率	93.47%	86.69%

(3) 介護予防・生活支援サービス事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

②通所型サービス【52ページ】

（担当課：介護保険課）

要支援者等に対し、介護予防を目的とした通所介護事業所等への通いにより、入浴、排せつ、食事の介護など、日常生活上の支援や機能訓練、運動などの支援を提供します。

訪問型サービスと同様に、住民主体型のサービスである「通所型サービスB」について、実施に向けた取組を進めていきます。

		令和2年度	令和3年度
介護予防通所介護相当サービス件数	計画値	3,337	4,078
	実績	3,325	3,184
	達成率	99.64%	78.08%

第6章 地域で安心して暮らせる支援体制の構築

3. 高齢者を地域で支える体制づくりの推進

(1) 地域資源の開発やそのネットワーク化（生活支援体制整備事業）（担当課：高齢者支援課）

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加により、日常生活上の支援等のニーズが高まるなか、見守りや安否確認、買い物、調理、掃除などの家事支援や、通いの場の開催など、介護予防に関し、地域住民を中心とした高齢者の支え合いの体制づくりの推進が求められています。

本市では、平成29年4月に、第2層のコーディネーターの後方支援など、事業全体を調整する第1層の生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、平成31年4月、市内8地区に第2層の生活支援コーディネーターを配置しました。

また、多様な主体間の定期的な情報の共有や、地域課題解決のための取組の検討等を実施する「協議体」の設置を順次進めています。

今後も地域全体での支え合いの体制づくりを推進するため、第2層の地区において順次、協議体の設置に向けた取組を進め、地域で高齢者を支援する体制を整備していきます。

（協議体設置について）

R2.6君津中地区 設置 R2.10君津東地区 設置 R3.4小櫃地区 設置

		令和2年度	令和3年度
生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）	計画値 （第1層 人数）	3	3
	実績	3	3
	達成率	100.00%	100.00%
	計画値 （第2層 人数）	8	8
	実績	8.00	8.00
	達成率	100.00%	100.00%
協議体設置数	計画値 （第1層 設置数）	1	1
	実績	1	1
	達成率	100.00%	100.00%
	計画値 （第2層 設置数）	2	
	実績	2.00	3.00
	達成率	100.00%	-

(2) 災害に備えた情報伝達体制や避難支援体制の整備【56ページ】 (担当課：厚生課)

本市では、「君津市災害時要援護者避難支援計画」に基づき、災害時の避難にあたって支援が必要となる高齢者や障害者等の実態等を把握し、災害発生時に地域で連携して支援する体制づくりに取り組んでいます。

今後とも本制度の周知に努めるとともに、民生委員や自治会、介護サービス事業者等と協力しながら、災害に備えた情報伝達体制や避難支援体制の整備に努めます。

災害発生時に自力で避難することが困難な方への支援体制を整えるため、令和3年10月に君津市避難行動要支援者避難支援計画を策定した。

		令和2年度	令和3年度
登録者数	計画値	1,710	1,740
	実績	1,610	1,517
	達成率	94.15%	87.18%

4. 外出環境の向上

(5) ひとり暮らし老人等福祉タクシー事業【58ページ】 (担当課：高齢者支援課)

75歳以上のひとり暮らしで、要介護・要支援認定を受けた高齢者にタクシー券を交付し、外出を支援します。

令和2年度より1枚730円券を、500円券に改定。利用枚数が増加した。

		令和2年度	令和3年度
利用人数	計画値	125	125
	実績	133	136
	達成率	106.40%	108.80%
利用枚数	計画値	1,600	1,600
	実績	2,421.00	3,392.00
	達成率	151.31%	212.00%

6. 生活支援サービスの充実

(8) ひとり暮らし老人等緊急通報システム設置事業【61, 62ページ】 (担当課：高齢者支援課)

65歳以上でひとり暮らしの方、75歳以上の方のみで構成される世帯の方の自宅に「緊急通報システム」を設置することにより、疾病、災害時等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り、安心して暮らせるよう支援します。

		令和2年度	令和3年度
設置台数	計画値	260	290
	実績	298	289
	達成率	114.62%	99.66%

(10) 君津市高齢者見守りネットワーク事業【62ページ】 (担当課：高齢者支援課)

地域全体で高齢者を見守る体制を構築することを目的として、事業活動を通じて高齢者と接することの多い民間事業者等と高齢者の見守りにかかる覚書を締結しています。

今後の拡大について、より有効な方法を検討し、ネットワークの強化、推進を図ります。

		令和2年度	令和3年度
覚書締結社数	計画値	8	14
	実績	10	13
	達成率	125.00%	92.86%

7. 認知症施策の総合的な推進

(2) 「認知症地域支援推進員」の設置・業務の実施【63ページ】 (担当課：高齢者支援課)

地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員が、認知症の症状に応じて適切なサービスを受けられるよう、医療機関や介護サービス、地域の支援機関との間の連携体制の構築や、認知症高齢者やその家族等に対する相談支援等を行います。

		令和2年度	令和3年度
配置人数	計画値	6	6
	実績	5	4
	達成率	83.33%	66.67%

(4) 「認知症サポーター」の養成と本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組み（チームオレンジなど）の整備【64ページ】 (担当課：高齢者支援課)

認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で、認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けをする「認知症サポーター」を養成します。

また、認知症の人等の身近な困りごとを把握し、認知症サポーター養成講座の受講修了者にステップアップ研修を実施した上で、近隣の認知症サポーターと当事者でチームオレンジを編成し、認知症の人等の身近な困りごとへできる範囲で手助けをする体制づくりを推進します。

		令和2年度	令和3年度
養成者数（延べ人数）	計画値	6,560	6,580
	実績	6,345	6,442
	達成率	96.72%	97.90%

8. 在宅医療・介護連携の推進

(2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討【66ページ】 (担当課：高齢者支援課)

医師、君津市在宅医療・介護連携推進協議会を定期的に開催し、関係機関と継続的に課題を共有し、対応策を検討していきます。

		令和2年度	令和3年度
在宅医療・介護連携推進協議会の開催回数	計画値	2	2
	実績	2	1
	達成率	100.00%	50.00%

3 介護が必要な方を支える介護基盤の整備推進と人材の確保

1. 介護サービスの整備推進【77ページ】

増加が見込まれる認知症高齢者の住まいの確保、支援の視点から、認知症対応型共同生活介護の新規整備（1事業所・小糸地区）を計画します。

在宅の要介護者等が、住み慣れた自宅で安心して生活を継続できるよう、24時間対応で支援する「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の新規整備（1事業所）、利用者の選択に応じて、事業所への「通い」や短期間の「宿泊」、自宅への「訪問」を組み合わせ支援する「小規模多機能型居宅介護」の新規整備（1事業所）を計画します。

在宅の要介護者の医療ニーズが高まっていることから、「退院直後の在宅生活へのスムーズな移行」、「がん末期等の看取り期、病状不安定期における在宅生活の継続」等、医療ニーズに対応できる「看護小規模多機能型居宅介護」の新規整備（1事業所）を計画します。

また、上記の事業所の配置については、地域密着型サービスの基盤整備が遅れている圏域等の状況を考慮しつつ、未整備圏域にも整備が進むよう適正な配置に努めるほか、サービスの普及に向けて、市民、介護支援専門員などの関係機関へ周知を図ります。

		令和2年度	令和3年度
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所数	計画値	3	3
	実績	3	3
	達成率	100.00%	100.00%
小規模多機能型居宅介護事業所数	計画値	1	1
	実績	1	1
	達成率	100.00%	100.00%
認知症対応型共同生活介護事業所数	計画値	4	4
	実績	4	4
	達成率	100.00%	100.00%
看護小規模多機能型居宅介護事業所数	計画値	1	1
	実績	1	1
	達成率	100.00%	100.00%

2. 介護人材の確保及び資質の向上並びにその業務の効率化及び質の向上のための取り組みの推進

(1) 介護職員初任者研修費用助成事業【85ページ】 (担当課：介護保険課)

介護人材の参入を促進するため、介護職員初任者研修を受講し、市内の介護サービス事業所、介護保険施設に従事した方に、研修の受講に要した費用の一部を助成します。

		令和2年度	令和3年度
助成者数（人）	計画値	5	10
	実績	2	16
	達成率	40.00%	160.00%

2 成果指標の設定

本計画では、施策ごとに以下のような成果指標を設定し、進捗状況について定期的に評価を行いながら各種施策を推進していきます。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況や、新しい生活様式への対応を踏まえ、各指標の達成状況については柔軟な評価を実施していきます。

○各施策の目標(自立した日常生活の支援、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止への取組及び目標設定)

基本 目標	施策	事業・指標	現状(見込)	目標値			
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
1 「人生100年時代」を見据えた生きがいづくり・健康づくり・介護予防の推進							
1 生きがいづくりと元気な暮らしの支援							
	シニアクラブ助成事業	クラブ数	54	54	54	54	
		会員数	1,901	1,900	1,900	1,900	
	シルバー人材センター会員数		480	525	540	550	
2 健康づくりの支援・介護予防の推進							
	結核・肺がん検診 受診率		6.7%	8.7%	8.8%	9.0%	
	胃がん検診 受診率		3.6%	5.6%	5.7%	6.0%	
	大腸がん検診 受診率		4.0%	7.8%	7.9%	8.0%	
	乳がん検診 受診率		9.3%	13.8%	13.9%	14.0%	
	子宮頸がん検診 受診率		9.6%	13.9%	13.9%	14.0%	
	健康増進モデル事業実施箇所数		105	108	110	110	
	地域指導員数(人)		24	24	24	34	
	介護予防把握事業 訪問件数		400	400	400	400	
	◆ 地域リハビリテーション活動支援事業 講座実施回数(回)		2	6	6	6	
	◆ 訪問型サービスB		-	検討・実施			
	◆ 通所型サービスB		-	検討・実施			
2 地域で安心して暮らせる支援体制の構築							
3 高齢者を地域で支える体制づくりの推進							
	生活支援コーディネーター 配置人数	第1層(人)	3	3	3	3	
		第2層(人)	8	8	8	8	
	◆ 協議体設置数	第1層	1	1	1	1	
		第2層	2	検討・順次設置			
	避難行動要支援者の登録者数(人)		1,710	1,740	1,770	1,800	

基本 目標	施策	事業・指標	現状(見込)	目標値		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
2 地域で安心して暮らせる支援体制の構築						
4 外出環境の向上						
	ひとり暮らし老人等福祉タ クシー事業	利用人数(人)	125	125	125	125
		利用枚数(枚)	1,600	1,600	1,600	1,600
6 生活支援サービスの充実						
	ひとり暮らし老人等緊急通報システム設置 台数		260	290	295	300
	君津市高齢者見守りネットワーク事業 覚書締結社数		8	14	16	18
7 認知症施策の総合的な推進						
	認知症地域支援推進員 配置人数(人)		6	6	8	8
	認知症サポーター養成者数(人)		6,560	6,580	6,600	6,620
8 在宅医療・介護連携の推進						
	◆在宅医療・介護連携推進協議会開催回数		2	2	2	2
3 介護が必要な方を支える介護基盤の整備推進と人材の確保						
1 介護サービスの整備推進						
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所数		3	3	4	4
	小規模多機能型居宅介護事業所数		1	1	2	2
	認知症対応型共同生活介護事業所数		4	4	5	5
	看護小規模多機能型居宅介護事業所数		1	1	2	2
2 介護人材の確保及び資質の向上並びにその業務の効率化及び質の向上のための取組の推進						
	介護職員初任者研修費用助成事業 助成者数		5	10	10	10
	介護の入門的研修の実施		-	実施	実施	実施

◆の事業は、介護保険制度の理念を踏まえ、高齢者一人ひとりがその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるような支援策や、要介護状態等となることの予防又は軽減、重度化の防止に向けた取組として目標を設定するものであり、上記のほか、要介護・要支援認定率の上昇抑制に向けて各施策を総合的に推進していきます。

指標	現状	目標値
	(令和2年3月末)	令和5年度
要介護・要支援認定率	16.9% (県平均:16.7%)	県平均以下

第 9 期介護保険事業計画について

1. 第 9 期介護保険事業（支援）計画に向けた調査の概要

介護保険法(第 117 条第 5 項)において市町村は、日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村介護保険事業計画を作成するよう努めることとされています。

(参考) 介護保険法 (抜粋)

第 117 条第 5 項 市町村は、第 2 項第一号の規定により当該市町村が定める区域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村介護保険事業計画を作成するよう努めるものとする。

<実施いただきたい調査>

○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査については、地域の要支援者・総合事業対象者・一般高齢者地域課題を把握するために重要であり、実施していただきたい。(基本指針)

目的：①要介護状態になる前的高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること

②介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用すること

対象：要介護 1～5 以外の高齢者

○在宅介護実態調査

在宅介護実態調査については、介護離職を防止する観点から、「高齢者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として、主に在宅で要介護認定を受けている者を対象とした調査である。計画の作成にあたり関係者と議論する際の材料として有用であり実施していただきたい。(基本指針)

目的：第 7 から期介護保険事業計画の策定において、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とする。

対象：主に在宅で要支援・要介護認定を受けている方

<実施を検討いただきたい調査>

その他のサービス提供体制を検討するための各種実態把握調査（在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査）については、調査の実施・分析に必要な体制の確保に留意しつつ、可能であれば実施を検討いただきたい。

在宅生活の継続という観点からのビジョンを設定・検討されている市町村は、本調査が、住み慣れた地域での生活を支えるうえで有効な定期巡回・小多機・看多機等の地域密着型サービスのニーズの把握につながる観点を踏まえて検討いただきたい。

○在宅生活改善調査

目的：「（自宅等にお住まいの方で）現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を検討

対象：居宅介護支援事業所、小多機、看多機（ケアマネジャー）

○居所変更実態調査

目的：過去1年間の新規入居・退去の流れや、退去の理由などを把握することで、住み慣れた住まい等で暮らし続けるために必要な機能等を検討

対象：介護施設等（サ高住・住宅型有料含む）

○介護人材実態調査

目的：介護人材の実態を個票で把握することにより、性別・年齢別・資格の有無別などの詳細な実態を把握し、介護人材の確保に向けて必要な取組等を検討

対象：介護事業所、介護施設等（サ高住・住宅型有料含む）

2. 君津市において実施する調査の考え方について

実施いただきたい調査として、国から示されている『介護予防・日常生活圏域ニーズ調査』及び『在宅介護実態調査』については、必須項目に加えて、オプション項目についても特に項目を絞らずに実施し、様々な福祉ニーズ、複合的な課題に対応する重層的な支援の必要性を把握するため、君津市独自項目を設定したうえでの実施を考えております。

実施を検討いただきたい調査として、国から示されている『在宅生活改善調査』、『居所変更実態調査』及び『介護人材実態調査』については、介護事業計画を作成するうえでの課題の把握などにつながると考えられるので、実施を考えております。

また、市内の介護事業者などの意向や要望については、アンケートフォームを活用する等、必要に応じて実施していこうと考えております。

設問の意図まとめ（在宅介護実態調査）

	内容	意図	種別
A票			
問1	世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）	世帯類型ごとに、サービスの利用や抱えている課題などが異なるため、世帯類型を把握する。	基本項目
問2	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）	家族等による介護がどの程度行われているかを把握する。	基本項目
問3	主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）	主な介護者の方と要介護者の関係によって、抱えている問題が異なるため、要介護者と主な介護者の方との関係を把握する。	オプション項目
問4	主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）		オプション項目
問5	主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）	主な介護者の方の年齢を把握する。	基本項目
問6	現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）	主な介護者の方が、行っている介護を把握し、就労継続の可否に係る意識等と合わせた分析を行う。	オプション項目
問7	ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）	認定調査対象者の方の介護に関連する、離職者の有無を把握する。	基本項目
-	ご家族やご親族の中で、成人していて（学生は除く）働いていない（所得のない）方はいますか。	潜在化している8050問題やヤングケアラーの実態について把握し、今後の様々な支援が必要な方への対策の検討資料とする。	君津市独自項目
問8	現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）	地域の中で介護保険以外の支援・サービスがどの程度利用されているかを把握する。	オプション項目
問9	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）	支援・サービスのニーズを把握する。 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスの両方を対象としている。	オプション項目
問10	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）	今後も在宅生活を継続していくことができると感じているか否かを把握し、在宅生活の継続に資するサービス利用の分析等を行う。	基本項目
問11	ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）	医療、介護の両方のニーズを持つ、在宅療養者を把握する。	オプション項目
問12	ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）		オプション項目
問13	現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）	要支援・要介護認定を受けている方について、介護保険サービスを利用していない理由を把握する。	オプション項目
問14	介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）		オプション項目

設問の意図まとめ（在宅介護実態調査）

	内容	意図	種別
-	今のケアプランについて、あなたはどの程度満足していますか。	要支援・要介護認定者におけるケアプランの満足度を把握し、利用者側からのケアプランに対する評価とする。	君津市独自項目
-	新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの行動や意識に変化はありましたか。 1. 外出しなくなった 2. 人と会わなくなった 3. 人や物に触るのが怖くなった 4. 不安になることが多くなった 5. 健康に気を付けるようになった 6. 人とのつながりの大切さを知ることができた 7. その他() 8. 特にない	在宅の要介護認定者等の新型コロナウイルス感染症の影響による生活の変化を把握し、今後の在宅介護のあり方について検討する。	君津市独自項目
-	新型コロナウイルス感染症の影響でサービス利用状況は変化しましたか。また、それに伴う身体の変化はありますか。	新型コロナウイルス感染症の拡大による、要介護者のサービスの利用状況や身体の変化、また、介護者の就労状況や働き方の変化を把握し、新しい生活様式の中での在宅介護のあり方を検討する。	君津市独自項目
B票			
問1	主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）	勤務形態によって、介護者の方の負担も異なることから、主な介護者の方の勤務形態を把握する。	基本項目
問2	問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（複数選択可）	仕事と介護の両立の視点から、柔軟な働き方について、どの程度活用をしているかを把握する。	基本項目
問3	問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）	勤め先からの支援のニーズを把握する。	オプション項目
問4	問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）	介護者の方が、今後も仕事を継続していくことができると感じているか否かを把握し、就労継続に資するサービス利用の分析等を行う。	基本項目
問5	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）	主な介護者の方が、不安に感じている介護を把握し、不安の軽減に資するサービス利用の分析等を行う。	基本項目
-	成年後見制度の利用促進に向けての課題は何かと思いますか。	成年後見制度の利用促進に向けた課題を把握する。	君津市独自項目
-	ご自身やご家族が認知症になったら不安に感じることはありますか。	認知症に関して、不安の軽減に資するサービス利用の分析等を行う。	君津市独自項目

設問の意図まとめ(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

	内容	意図	種別
問1 あなたのご家族や生活状況について			
(1)	家族構成をお教えてください	この設問は、家族構成を問う設問です。高齢者の世帯状況やその地域分布を把握すること、世帯構成別の回答結果を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります(孫を含む3世帯の場合は「その他」にしてください)。	必須項目
-	あなたのご家族の方にひきこもり状態の方はいらっしゃいますか。	ヤングケアラーや8050問題、感染症の影響など高齢者を取り巻く新たな社会問題に対する現状を把握し、今後の様々な支援が必要な方への対策の検討資料とする。	君津市独自項目
-	ひきこもり状態の方に対して、どのような支援を期待しますか。 1. 当事者・家族の相談相手 2. 相談先窓口や家族会等の情報提供 3. 当事者の居場所づくり 4. 就労・就学支援 5. その他()		君津市独自項目
-	あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。		君津市独自項目
-	ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。 1. 本人の抱えている状況について相談できる場所 2. 家族の介護・介助の内容について相談できる場所 3. 家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明する場所 4. 介護・介助のすべてをケアラーに代わって行うサービスの紹介 5. 介護・介助の一部をケアラーに代わって行うサービスの紹介 6. 進路や就職など将来について相談できる場所 7. 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート 8. 家庭への経済的な支援 9. その他() 10. 特になし 11. わからない		君津市独自項目
-	新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの行動や意識に変化はありましたか。 1. 外出しなくなった 2. 人と会わなくなった 3. 人や物に触るのが怖くなった 4. 不安になることが多くなった 5. 健康に気を付けるようになった 6. 人とのつながりの大切さを知ることができた 7. その他() 8. 特になし		君津市独自項目

設問の意図まとめ(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

	内容	意図	種別
(2)	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	この設問は、主観的な介護の必要度を問う設問です。 要介護状態になる前の高齢者の介護の必要度を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	必須項目
(2)	①【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)	この設問は、介護・介助が必要になった原因を問う設問です。 要介護状態になる前の高齢者の介護・介助が必要になった原因を把握することにより、地域課題(要介護状態になる原因)の把握が可能になります。	オプション項目
(2)	②【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】 主にどなたの介護・介助を受けていますか(いくつでも)	この設問は、介助者の詳細を問う設問です。 要介護状態になる前の高齢者の介護・介助の実態を把握することにより、地域課題(家族介護の実態)の把握が可能になります。	オプション項目
(3)	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	この設問は、主観的な経済状態を問う設問です。 高齢者の経済状態やその地域分布を把握すること、経済状態別の回答結果を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	必須項目
(4)	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか	この設問は、住宅の形態を問う設問です。 地域の高齢者の住まい(サービス付き高齢者向け住宅など)のニーズ把握・サービス整備の検討の際に活用することが可能になります。	必須項目

設問の意図まとめ(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

	内容	意図	種別
問2 からだを動かすことについて			
(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	<p>この設問は、運動器の機能低下を問う設問です(この設問で3問以上、該当する選択肢(表の網掛け箇所)が回答された場合は、運動器機能の低下している高齢者になります)。</p> <p>運動器の機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。</p> <p>(4)・(5)について この設問は、転倒リスクを問う設問です((4)で「1. 何度もある」「2. 1度ある」に該当する選択肢が回答された場合は、転倒リスクのある高齢者になります)。</p> <p>転倒リスクのある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。</p>	必須項目
(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか		必須項目
(3)	15分位続けて歩いていますか		必須項目
(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか		必須項目
(5)	転倒に対する不安は大きいですか		必須項目
(6)	週に1回以上は外出していますか	<p>この設問は、閉じこもり傾向を問う設問です((6)で「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」に該当する選択肢が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります)。</p> <p>閉じこもり傾向のある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。</p>	必須項目
(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか		必須項目
(8)	外出を控えていますか	<p>この設問は、外出を控えている場合の原因を問う設問です。</p> <p>閉じこもり傾向のある高齢者の原因を把握することにより、地域課題(閉じこもり傾向のある高齢者に不足している対策)の把握が可能になります。</p>	オプション項目
(8)	①【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)		オプション項目
(9)	外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)	<p>この設問は、外出の際の移動手段を問う設問です。</p> <p>高齢者の外出の際の移動手段の実態を把握することにより、地域課題(移動手段上の課題)の把握が可能になります。</p>	オプション項目

設問の意図まとめ(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

	内容	意図	種別
問3 食べることについて			
(1)	身長・体重	<p>この設問は、低栄養の傾向を問う設問です(身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5以下の場合、低栄養が疑われる高齢者になります。)</p> <p>低栄養状態を確認する場合は、オプション項目にある設問のうち、体重の減少傾向を把握する「6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」も併せて確認し、2設問ともに該当した場合は、低栄養状態にある高齢者になります。</p> <p>(この設問1問のみでは、地域の低栄養状態にある高齢者の把握はできませんのでご注意ください。)</p> <p>低栄養状態にある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になりますので、事業の必要量を把握する場合はオプション項目1設問を加えた2設問を実施してください。</p>	必須項目
(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	<p>この設問は、口腔機能の低下のうち咀嚼機能の低下を問う設問です((1)で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者になります)。</p> <p>口腔機能の低下を確認する場合は、オプション項目にある設問のうち、嚥下機能の低下を把握する「お茶や汁物等でむせることがありますか」、肺炎発症リスクを把握する「口の渇きが気になりますか」も併せて確認し、3設問のうち2設問に該当した場合は、口腔機能の低下している高齢者になります。</p> <p>(この設問1問のみでは、地域の口腔機能が低下している高齢者の把握はできませんのでご注意ください。)</p> <p>口腔機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になりますので、事業の必要量を把握する場合はオプション項目2設問を加えた3設問を実施してください。</p>	必須項目

設問の意図まとめ(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

	内容	意図	種別
(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	(3)は、嚥下機能の低下を把握する設問、(4)は肺炎発症リスクを把握する設問です。必須項目にある設問のうち、咀嚼機能の低下を把握する「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」も併せて確認し、3設問のうち2設問に該当した場合は、口腔機能の低下している高齢者になります。	オプション項目
(4)	口の渇きが気になりますか	口腔機能が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	オプション項目
(5)	歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか	この設問は、口腔ケアに問う設問です。日常の口腔ケアの状況を把握することにより口腔に関する地域課題の把握が可能になります。	オプション項目
(6)	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)	この設問は、義歯の有無と歯数を問う設問です。高齢者の口腔の健康状態や義歯の使用状況の把握により、地域の歯科医療や口腔機能の向上に関するニーズの把握の参考になります。	必須項目
(6)	① 噛み合わせは良いですか	この設問は、咬合状態・義歯の管理を問う設問です。咀嚼機能や口腔衛生の状況を把握することにより、口腔に関する地域課題の把握が可能になります。	オプション項目
(6)	②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】毎日入れ歯の手入れをしていますか		オプション項目
(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	この設問は、低栄養の傾向を問う設問です。低栄養の傾向のある高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	オプション項目
(8)	どなたかと食事をとる機会がありますか	この設問は、孤食の状況を問う設問です。閉じこもり傾向と孤食の関係性を把握することで、地域課題(閉じこもり傾向の原因)の把握が可能になります。	必須項目

設問の意図まとめ(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

	内容	意図	種別
問4 毎日の生活について			
(1)	物忘れが多いと感じますか	この設問は、認知機能の低下を問う設問です((1)で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります)。認知機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	必須項目
(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	この設問は、認知機能の低下を問う設問です。認知機能が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	オプション項目
(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか		オプション項目
(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)		必須項目
(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	この設問は、IADL の低下を問う設問です。IADL が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	必須項目
(6)	自分で食事の用意をしていますか		必須項目
(7)	自分で請求書の支払いをしていますか		必須項目
(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか		必須項目
(9)	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	この設問は、老研式活動能力指標に基づく知的能動性の低下を問う設問です。本指標が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	オプション項目
(10)	新聞を読んでいますか		オプション項目
(11)	本や雑誌を読んでいますか		オプション項目
(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか		オプション項目
(13)	友人の家を訪ねていますか		オプション項目
(14)	家族や友人の相談にのっていますか	この設問は、他者との関わりについて問う設問です。地域課題(他者との関わりの低さ)の把握が可能となります。	オプション項目
(15)	病人を見舞うことができますか		オプション項目
(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか		オプション項目
(17)	趣味はありますか		オプション項目
(18)	生きがいがありますか	この設問は、趣味・生きがいを問う設問です。本項目と社会参加の関係性を把握することにより、社会参加する高齢者の傾向の把握が可能になります。	オプション項目

設問の意図まとめ(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

	内容	意図	種別
問5 地域での活動について			
(1)	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ① ボランティアのグループ ② スポーツ関係のグループやクラブ ③ 趣味関係のグループ ④ 学習・教養サークル ⑤ ([介護予防のための通いの場等について各市町村が使っている名称(通いの場が何種類かある場合は列挙する)を入れる]など)介護予防のための通いの場 ⑥ 老人クラブ ⑦ 町内会・自治会 ⑧ 収入のある仕事	この設問は、社会参加活動や、就業状況を問う設問です。 ⑤の赤字部分には、調査を実施する市町村が推進している介護予防のための通いの場等について、調査対象者が回答しやすいよう、各市町村が使っている名称を入れて調査します。	必須項目
-	あなたは、介護助手を知っていますか。介護助手の仕事をしてみたいと思いますか。	介護助手に関して、認知度やニーズを把握する。	君津市独自項目
(2)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。	この設問は、地域づくりへの参加意向を問う設問です。 地域づくりに対して「参加者として」「企画・運営(お世話役として)」の両方の立場における参加の意向を把握することが可能になります。	必須項目
(3)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。		必須項目
問6 たすけあいについて			
(1)	あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)	この設問は、たすけあいの状況を把握する設問です。 たすけあいの状況と関係性がある、その地域のうつ傾向の発生状況を、間接的に把握することが可能になります。	必須項目
(2)	反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)		必須項目
(3)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)		必須項目
(4)	反対に、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)		必須項目
(5)	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)	この設問は、地域の相談経路を問う設問です。 地域の相談窓口の活用状況を把握することが可能となります。	オプション項目
(6)	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。	この設問は、友人関係を問う設問です。 事業を展開したことにより、地域でのつながりがどの程度増えたかをモニタリングすることが可能となります。	オプション項目
(7)	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。		オプション項目

設問の意図まとめ(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

	内容	意図	種別
(8)	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)		オプション項目
問7 健康について			
(1)	現在のあなたの健康状態はいかがですか	この設問は、主観的健康感を問う設問です。 要介護状態になる前の高齢者の主観的健康感を把握することで、地域の健康度のアウトカム指標として活用することが可能になります。	必須項目
-	軽い運動・体操を1週間に何日くらいしていますか。	対象高齢者の現状(フレイル等)を基に、高齢者をタイプ別に分類し、タイプ別のフレイル等の状況を把握し、高齢者のタイプ別に応じた健康づくり施策や、介護予防の取組みを検討する。	君津市独自項目
-	定期的な運動スポーツを1週間に何日くらいしているか。		君津市独自項目
-	5mを5秒以内で歩けるか。		君津市独自項目
-	あなたは以下のどの介護予防や健康づくりの活動に参加したいですか。 1. 体操(運動)の教室(公民館などでの講座) 2. 体操(運動)の教室(WEB(インターネット)) 3. 身近な地域の公園でのラジオ体操 4. 会食や茶話会等、食事をしながら、話し合う場 5. 認知症予防の教室(市役所での講座) 6. 認知症予防の教室(WEB(インターネット)) 7. 趣味の活動への参加(料理教室、手芸、健康マージャン等) 8. 農作業や農作物の収穫体験 9. 支援が必要な高齢者への生活支援(買い物支援、移動支援等) 10. 子どもや若年世代等世代間との交流活動 11. その他()		君津市独自項目
(2)	あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)	この設問は、主観的幸福感を問う設問です。 うつ傾向との関係性も想定される、要介護状態になる前の高齢者の主観的幸福感を把握することで、地域の(精神面での)健康度のアウトカム指標として活用することが可能になります。	必須項目
(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	この設問は、うつ傾向を問う設問です((3)(4)でいずれか1つでも「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向の高齢者になります)。	必須項目
(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	うつ傾向の高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	必須項目

設問の意図まとめ(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

	内容	意図	種別
(5)	お酒は飲みますか	この設問は、飲酒の習慣を問う設問です。高齢者の健康寿命に影響を与えられとされる本項目と他項目の関係性を把握することにより、地域の高齢者の特性把握が可能になります。	オプション項目
(6)	タバコは吸っていますか	この設問は、タバコの習慣を問う設問です。高齢者の健康寿命に影響を与えられとされる本項目と他項目との関係性を把握することで、地域の高齢者の特性把握が可能になります。	必須項目
(7)	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)	この設問は、現在治療中の病気等を問う設問です。認定を受けていない高齢者の既往を把握することで、要介護状態になる原因等の地域課題の把握が可能になります。	必須項目
問8 認知症にかかる相談窓口の把握について			
(1)	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか	この設問は、家族を含め認知症の有無を問う設問です。認知症施策推進大綱において、認知症に関する相談体制を地域ごとに整備していくことが求められており、その目標となる相談窓口の認知度について、関係者(認知症当事者本人及び家族)と住民(本人及び家族以外)の属性の把握が可能となります。	必須項目
(2)	認知症に関する相談窓口を知っていますか	この設問は、認知症に関する相談窓口の認知度を把握するための設問です。認知症に関する相談窓口の認知度を把握し、周知の必要性等の課題の把握が可能となります。	必須項目
問8 生活支援について			
-	日常的に受けたいと思う支援はありますか。 1 安否確認の声かけ 2 心配ごとなどの相談相手 3 買い物の手伝い 4 家事の手伝い 5 外出の手伝い 6 ゴミ出しの手伝い 7 急病になった時の看病 8 介護を必要とする人の短時間の預かり 9 認知症などの高齢者の見守り 10 災害時の手助け 11 その他() 12 特にない	地域での支え合い(自助、共助)に対するニーズを把握し、地域での高齢者や周囲の人たちへの支援のあり方を検討する。	君津市独自項目

設問まとめ（在宅生活改善調査）

	内容	選択肢等
事業所票		
問1	貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。	1) 所属するケアマネジャーの人数 2) 「自宅等（3)を除く）」にお住まいの利用者数 3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数
問2	貴事業所において、過去1年の間に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護度別）」をご記入ください。 ※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。	要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5
問3	貴事業所において、過去1年の間に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数（行き先別）」をご記入ください。 ※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。	1) 兄弟・子ども・親戚等の家 2) 住宅型有料老人ホーム 3) 軽費老人ホーム（特定施設除く） 4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く） 5) グループホーム 6) 特定施設 7) 地域密着型特定施設 8) 介護老人保健施設 9) 療養型・介護医療院 10) 特別養護老人ホーム 11) 地域密着型特別養護老人ホーム 12) その他 13) 行先を把握していない 14) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）
利用者票		
<p>「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方のうち「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」が対象です。</p> <p>例えば「頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用がより適切と思う利用者」、「認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思う方」が対象です。</p>		
1. 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。		
問1-1	世帯類型	1. 独居 2. 夫婦のみ 3. 単身の子供との同居 4. その他の同居
問1-2	現在の居所	1. 自宅等（持ち家） 2. 自宅等（借家） 3. 住宅型有料 4. サ高住
問1-3	要支援・要介護度	1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. 新規申請中

設問まとめ（在宅生活改善調査）

	内容	選択肢等
2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。		
現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください		
問2-1	(1) 本人の状態等に属する理由について、お答えください	<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当なし 2. 必要な生活支援の発生・増大 3. 必要な身体介護の増大 ⇒ 【問2-4】 4. 認知症の症状の悪化 ⇒ 【問2-5】 5. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり ⇒ 【問2-6】 6. その他、本人の状態等の悪化 7. 本人の状態等の改善
問2-2	(2) 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください	<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当なし 2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから 3. 生活不安が大きいから 4. 居住環境が不便だから 5. 本人が介護者の負担の軽減を望むから 6. 費用負担が重いから 7. その他、本人の意向等があるから
問2-3	(3) 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください	<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当なし 2. 介護者の介護に係る不安・負担量の増大 3. 介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから 4. 家族等の介護等技術では対応が困難 5. 費用負担が重いから 6. 家族等の就労継続が困難になり始めたから 7. 本人と家族等の関係性に課題があるから 8. その他、家族等介護者の意向等があるから
問2-4	【問2-1で【「3.」を選択の場合】理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください	<ol style="list-style-type: none"> 1. 見守り・付き添い 2. 移乗・移動 3. 食事摂取 4. 排泄（日中） 5. 排泄（夜間） 6. 入浴 7. 更衣・整容 8. その他
問2-5	【問2-1で【「4.」を選択の場合】理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家事に支障がある 2. 一人での外出が困難 3. 薬の飲み忘れ 4. 金銭管理が困難 5. 意欲の低下 6. 徘徊がある 7. 暴言・暴力などがある 8. 強い介護拒否がある 9. 深夜の対応 10. 近隣住民等とのトラブル 11. その他
問2-6	【問2-1で【「5.」を選択の場合】理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください	<ol style="list-style-type: none"> 1. 点滴の管理 2. 中心静脈栄養 3. 透析 4. ストーマの処置 5. 酸素療法 6. レスピレーター 7. 気管切開の処置 8. 疼痛の看護 9. 経管栄養 10. モニター測定 11. 褥瘡の処置 12. カテーテル 13. 喀痰吸引 14. インスリン注射 15. その他

設問まとめ（在宅生活改善調査）

	内容	選択肢等
3. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。		
問3-1	「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。	1. より適切な「在宅サービス」に変更する（例：小多機能等） 2. より適切な「住まい・施設等」に変更する（例：サ高住への入居、特養への入所等） 3. より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する（例：定期巡回の利用、もしくは特養への入所が適切等） 4. 「1.」～「3.」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】 ※ 「在宅サービス」と「住まい・施設等」の定義は、問3-2を参照
問3-2	問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください	<在宅サービス> 1. ショートステイ 2. 訪問介護、訪問入浴 3. 夜間対応型訪問介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハ 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 <住まい・施設等> 10. 住宅型有料 11. サ高住（特定施設除く） 12. グループホーム 13. 特定施設 14. 介護老人保健施設 15. 療養型・介護医療院 16. 特別養護老人ホーム ⇒ 住まい・施設等を1つでも選択した場合は、問3-3以降も回答
問3-3	【問3-2で「10.」～「16.」を選択の場合】利用者の入所・入居の緊急度をお答えください	1. 緊急性が高い 2. 入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫 3. その他
問3-4	【問3-2で「10.」～「15.」（※特養以外）を選択の場合】入所・入居できていない理由をお答えください	1. まだ、申込をしていない 2. 申込済みだが、空きがない 3. 申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない 4. 申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない 5. その他

設問まとめ（在宅生活改善調査）

	内容	選択肢等
問3-5	【問3-2で「16.」（※特養）を選択の場合】特養に入所できていない理由をお答えください	1. まだ、申込をしていない 2. 申込済みだが、空きがない 3. 申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない 4. 申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない 5. その他

設問まとめ（居所変更実態調査）

	内容	選択肢等
問 1	該当するサービス種別を、ご回答ください。（1つに○）	1. 住宅型有料老人ホーム 2. 軽費老人ホーム（特定施設除く） 3. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く） 4. グループホーム 5. 特定施設 6. 地域密着型特定施設 7. 介護老人保健施設 8. 介護療養型医療施設・介護医療院 9. 特別養護老人ホーム 10. 地域密着型特別養護老人ホーム
問 2	貴施設等の概要について、以下にご記入ください。	1) 施設等の名称 2) 定員数など 3) 入所・入居者数 4) （貴施設等の）待機者数 5) 特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）
問 3	現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。（数値を記入）	自立 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 申請中・不明
問 4	以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。（数値を記入）	1) 点滴の管理 2) 中心静脈栄養 3) 透析 4) ストーマの処置 5) 酸素療法 6) レスピレーター 7) 気管切開の処置 8) 疼痛の看護 9) 経管栄養 10) モニター測定 11) 褥瘡の処置 12) カテーテル 13) 喀痰吸引 14) インスリン注射
ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。		
問 5	過去1年間に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。 ※ 貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めないでください。	新規の入所・入居者数（合計）
問 6	問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。 ※ 一旦入院し、退院後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。	1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む） 2) 住宅型有料老人ホーム 3) 軽費老人ホーム（特定施設除く） 4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く） 5) グループホーム 6) 特定施設 7) 地域密着型特定施設 8) 介護老人保健施設 9) 療養型・介護医療院 10) 特別養護老人ホーム 11) 地域密着型特別養護老人ホーム 12) その他 13) 入居・入所する前の居場所を把握していない 14) 合計

設問まとめ（居所変更実態調査）

	内容	選択肢等
ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。		
問7	過去1年間に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。 ※ なお、一時的な入院等で貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含めないでください。	退去者数（合計）（※死亡・搬送先での死亡を含む）
問8	問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。 ※ 死亡（搬送先での死亡を含む）した人については、「死亡」欄にその人数をご記入ください。	自立 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 新規申請中 死亡
問9	問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。 ※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。	1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む） 2) 住宅型有料老人ホーム 3) 軽費老人ホーム（特定施設除く） 4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く） 5) グループホーム 6) 特定施設 7) 地域密着型特定施設 8) 介護老人保健施設 9) 療養型・介護医療院 10) 「9」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く） 11) 特別養護老人ホーム 12) 地域密着型特別養護老人ホーム 13) その他 14) 行先を把握していない 15) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む） 16) 合計
問10	貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する□に✓を付けてください。	1) 必要な生活支援が発生・増大したから 2) 必要な身体介護が発生・増大したから 3) 認知症の症状が悪化したから 4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから 5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから 6) 入所・入居者の状態等が改善したから 7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから 8) 費用負担が重くなったから 9) その他

設問まとめ（介護人材実態調査）

	内容	選択肢等
事業所票		
問 1	該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（施設系・通所系）	1. 施設・居住系サービス （特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設（地域密着型含む）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム） 2. 通所系サービス （通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））
問 1	該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（訪問系）	1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）） 2. 小規模多機能型居宅介護 3. 看護小規模多機能型居宅介護 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
問 2	貴施設等（問 1 で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員について、お伺いします ※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。） ※ また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。	正規職員 非正規職員
問 2-2	貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）	開設時期
問 2-3	開設から 1 年以上を経過している施設等にお伺いします。 過去 1 年間の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。	採用者数 離職者数
問 2-4	問 2-3 の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）	20 歳未満 20～29 歳 30～39 歳 40～49 歳 50～59 歳 60～69 歳 70～79 歳 年齢不明
-	職員定着のために行っている取組みは何ですか。	君津市独自項目

設問まとめ（介護人材実態調査）

	内容	選択肢等
問3 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。		
(1)	資格の取得、研修の修了の状況	1. 介護福祉士（認定介護福祉士含む） 2. 介護職員実務者研修修了または(旧)介護職員基礎研修修了 または(旧)ヘルパー1級 3. 介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級 4. 上記のいずれも該当しない
(2)	雇用形態	1. 正規職員（※期限の定めのない契約） 2. 非正規職員（※期限の定めのある契約）
(3)	性別	1. 男性 2. 女性
(4)	年齢	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上 8. 不明
(5)	過去1週間の勤務時間	※ 残業時間を含む。休憩時間は除く。
(6)	現在の施設等での勤務年数	1. 1年以上 ⇒【回答終了】 2. 1年未満 ⇒【(7)へ】
(7)	現在の施設等に勤務する直前の職場※地域密着型を含む	1. 現在の職場が初めての勤務先⇒【回答終了】 2. 介護以外の職場 ⇒【回答終了】 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型 5. 小多機、看多機、定期巡回サービス 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ 7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外） 8. その他の介護サービス ⇒【「3.」～「8.」の場合は(8)へ】
(8)	直前の職場について	1. 現在の施設等と、同一の市区町村内 2. 現在の施設等と、別の市区町村内
	〃	1. 現在の施設等と、同一の法人・グループ 2. 現在の施設等と、別の法人・グループ

設問まとめ（介護人材実態調査）

	内容	選択肢等
職員票（訪問介護員向け）		
問 1	あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つに○）	1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）） 2. 小規模多機能型居宅介護 3. 看護小規模多機能型居宅介護 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
問 2	あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください（1つに○）。	1. 介護福祉士（認定介護福祉士含む） 2. 介護職員実務者研修修了、または(旧)介護職員基礎研修修了、または(旧)ヘルパー1級 3. 介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級 4. 「1.」～「3.」のいずれにも該当しない
問 3	あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。	
1)	雇用形態	1. 正規職員（※ 期限の定めのない契約） 2. 非正規職員（※ 期限の定めのある契約）
2)	性別	1. 男性 2. 女性
3)	年齢	
4)	過去1週間の勤務時間（数値を記入） ※ 問1で回答した勤務先における時間	
5)	現在の事業所での勤務年数（数値を記入）	1. 1年以上 ⇒ 裏面に回答 2. 1年未満 ⇒ 問4と裏面に回答
問 4	問3の5)で「2.」と回答された方に、お伺いします。現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください（1つに○）。	1. 現在の職場が初めての勤務先⇒【裏面に回答】 2. 介護以外の職場 ⇒【裏面に回答】 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型 5. 小多機、看多機、定期巡回サービス 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ 7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外） 8. その他の介護サービス ⇒【「3.」～「8.」の場合は問5へ】

設問まとめ（介護人材実態調査）

	内容	選択肢等
問5	問4で「3.」～「8.」と回答された方に、お伺いします。ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。	
1)	場所	1. 現在の事業所と、同一の市区町村内 2. 現在の事業所と、別の市区町村内
2)	法人	1. 現在の事業所と、同一の法人・グループ 2. 現在の事業所と、別の法人・グループ
裏面	<p>※直近の1週間（7日間）について、提供した時間（分）を記入してください。 （例．水曜日を開始日とする場合、水曜日（開始日）から次週の火曜日までの7日間の情報を記入してください）</p> <p>※移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者の居宅における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります（移動時間を含まない）。</p> <p>※障害サービスの提供は除いてください。</p> <p>※介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。</p> <p>※記入する時間は「5分単位」とします。（例）32分→30分と記入。</p>	